

催し物のご案内

特別展 「初三郎式、かながわの描き方 — 地形表現の科学 —」

2025年7月19日(土)～11月9日(日) 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日: 9月1日(月)・8日(月)・9日(火)・16日(火)・22日(月)・
24日(水)・29日(月)・10月6日(月)・14日(火)・15日(水)・
20日(月)・27日(月)・11月4日(火)

吉田初三郎・作「神奈川県鳥瞰図」など大正から昭和初期に描かれた鳥瞰図は、名所旧跡の外観等を挿し絵で描くだけでなく、立地している地形を立体的に表現していることが見どころです。これらが生み出された時代背景を人文科学的、地形表現を自然科学的なアプローチで迫ります。



《 事前申し込みの講座 》

詳細は、博物館ウェブサイトや催物案内をご覧ください。

●植物図鑑の使い方～樹木編～[博物館および館周辺]

日時／10月18日(土) 10:00～15:00

対象／小学4年生～成人・教員 24人

※小学生は保護者参加必須、

その場合は幼児連れ可。

申込締切:10月7日(火)

●地形地質と鳥瞰図の観察会 横浜・桜木町[横浜市内]

日時／10月18日(土) 10:00～15:00 ※雨天中止

対象／中学生～成人 25人

申込締切:10月7日(火)

●本当は怖いアメリカザリガニ

～最悪の水辺の外來種について勉強しよう～[川崎市]

日時／10月19日(日) 9:30～14:00 ※雨天中止

対象／小学3年生～成人 20人

※小学生は保護者参加必須

申込締切:10月7日(火)

●小田原景勝鳥瞰図に描かれた建造物の石材の見学会[小田原市]

日時／11月2日(日) 13:00～15:00 ※雨天・荒天中止

対象／小学4年生～成人 30人

※小学生は保護者参加必須

申込締切:10月21日(火)

●はっぱであそぼう[博物館]

日時／11月9日(日) 13:30～14:30

対象／5～6歳の子どもとその保護者 8組最大24人

※保護者参加必須

申込締切:10月28日(火)

●貝殻のふしぎを調べよう

①ホタテ[小田原市] ②アサリ[横浜市内] ③巻貝[横浜市内]

①日 時／11月 9日(日) 10:00～15:30

申込締切:10月28日(火)

②日 時／11月16日(日) 10:00～15:30

申込締切:11月 4日(火)

③日 時／11月23日(日) 10:00～15:30

申込締切:11月11日(火)

※室内講座です。また、連続講座ではありません。

対象／小学4年生～成人 18人

※小学生は保護者参加必須

●クジラ・イルカの形態学 鯨類の“かたち”に注目 [博物館]

日時／11月15日(土) 13:30～15:30

対象／高校生～成人 10人

申込締切:11月4日(火)

●鳥類標本作製講座[博物館]

日時／12月6日(土)・7日(日) 9:30～16:00

※2日間の参加が条件です。

対象／大学生～成人 10人

申込締切:11月25日(火)

●もっと魚を知りたい人のための魚類学講座 [博物館]

日時／2026年1月10日(土)・11日(日) 9:30～16:00

※2日間の参加が条件です。

対象／小学5年生～成人 15人

※小学生は保護者参加必須

申込締切:12月23日(火)

自然科学のとびら

第31巻3号(通巻120号)

2025年9月15日発行

発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館

館長 田中 徳久

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499

TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846

編集 本杉 弥生(企画普及課)

印刷 株式会社あしがら印刷

© 2025 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

催し物の詳細や最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式X(旧Twitter)でご確認ください。

生命の星



[公式ウェブサイト] <https://nh.kanagawa-museum.jp/>

[公式 X] @seimeinohoshiPR [混雑情報 X] @seimeinohoshiCI

[問合せ先] 企画情報部 企画普及課 TEL: 0465-21-1515

ライブラリー通信

「日本古書通信」が終わってしまう!!

つちや さだお
土屋 定夫(司書)

1934年(昭和9年)1月に創刊された「日本古書通信」は当初、古書市場の落札相場速報を主とする業界誌でしたが、1937年からは書物趣味誌となり現在に至っています。

太平洋戦争による中断もありましたが1947年に復刊。古書に関する随筆・研究の他、各地の古書店の販売目録を掲載して、多くの古書ファンや図書館、研究機関にも喜ばれてきました。私も長年の購読者の一人です。

ところが、今年の3月号に突如、本年の12月号をもって終刊するとの告知が掲載されたのです。寝耳に水状態でした。告知には、上記のような歴史やインターネットの普及により古書目録の掲載店や定期購読者の減少が続き、ついに刊行の継続が困難となってしまったことなどが綴られていました。

この雑誌は、時代も分野も問わず書物に関する様々なものを取り上げてきました。世の中には、いろいろなことを調べている人たちがこんなにもいるのかと驚かされ、さらに刺激ももらいました。

ライブラリーの業務上では、特殊文献の紹介コーナーが役立ちました。編集部宛に送られてくる出版物の中から、毎号5～6点が紹介されるのですが、一般には流通しない文献等もあり、希望者のために発行元の住所まで記載されていて大変重宝しました。

図書に関わりを持ってきた者としても終刊は痛恨の極みと言わざるを得ません。非常に残念ではありますが、いずれ不死鳥のように再度復刊されることを願いつつ、この不世出の雑誌の90年間の歴史に感謝とお別れを伝えたいと思います。

ありがとう そして また会える日までさようなら



日本古書通信社 2012年
通巻1000号